

IPEJ-KNK



まんき ぶだより

《IPEJ-KNK》

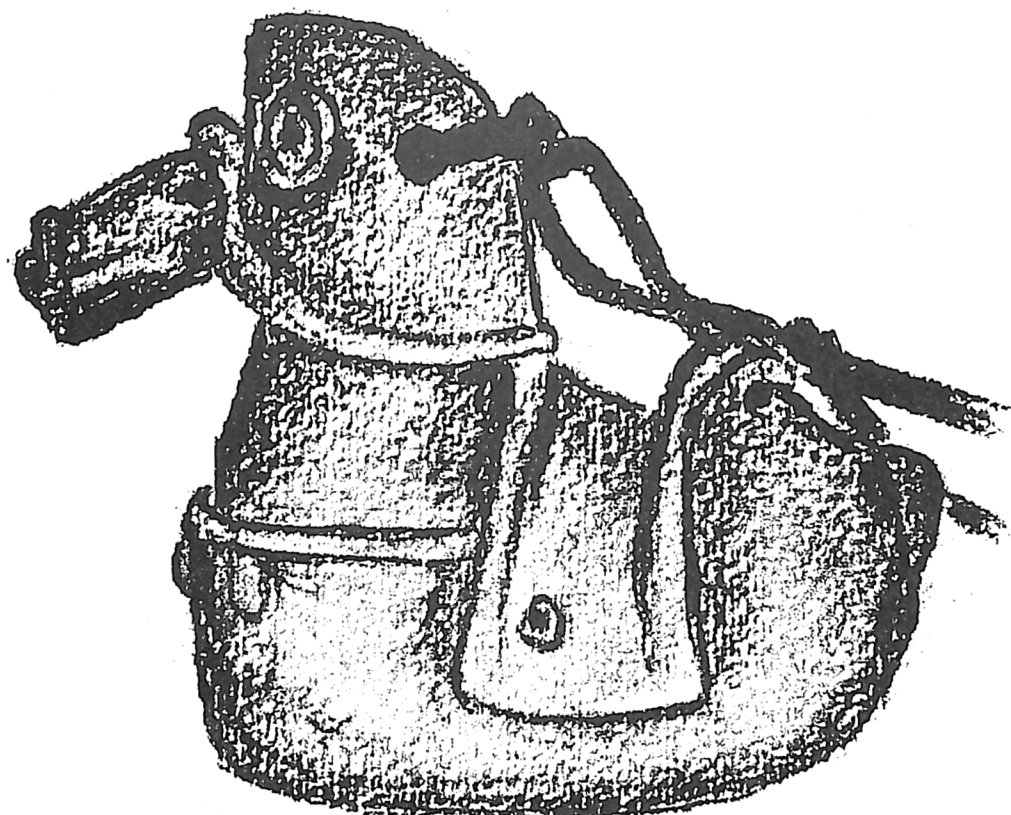
(社) 日本技術士会
近畿支部

No 63

2002-02-15

IPEJ-KNK

*Don't throw this away without reading !
Browse the home pages of ipej-knk once a week .
Otherwise you may fail to catch useful information ! OK ?*



人間万事塞翁馬 「淮南子」

古来日本では、人間の禍福のたとえに用いられる話であるが、中国語では「人間」には「ひと」の意味はなく、「じんかん」と読み人の世、この世、人間界、人間社会の意味だそうである。(合山 究「故事成語」による) 午年にちなみ、混沌たるこの世界に一転、「平和到来」と「景気回復」を期待したい。本年も会員諸氏のご健勝をお祈りします。
(編集委員一同)

技術士とは何ですか？このようにあなたが問いかれたときどう答えましょうか。明快適切に答えたいものです。無論昨年改正された技術士法や技術士会の定款に書いてはありますが、その意識が必要です。敢えてそれに挑戦してみますので、それぞれの立場において、それぞれの適訳を創る叩き台としていただきたいと思います。

1) 日本技術士会の機能は、産業の全技術分野をカバーできる存在である。（ただし、建築の一部、医学、薬学は除く）

2) 高度の技術力を駆使する産業社会のための奉仕者である。

3) 全体としては P E（Professional Engineer）である。業務を遂行する姿勢は、常に公正中立である。基本として、技術倫理を最優先させ、ある時は技術鑑定者。ある時は技術社会のオピニオンリーダー。さらにある時は、乞われれば羅針盤役も果たす。

4) C E（Consulting Engineer）の顔も持つ。一企業、一個人に対しては、強力な技術協力者の役割を果たす。なお法によって守秘義務が課されている。

①豊富な技術体験を基盤に持ち、②常に技術の広汎な自己研鑽を課することを金科玉条としている。

5) 技術について、国際的活動力の保持者であるという顔を持つ。A P E C はもちろん活動の場に国境を設けていない。

目 次

巻頭言：求められる新技術指導	加藤 薫（農業） 2
平成 14 年度技術士・技術士補交歓会のご案内	加藤 薫（農業） 3
総合技術監理部門筆記試験合格状況	4
新技術士制度と修習技術者	稲本 渡（化学） 5
地球環境問題とは何か	山本 泰三（環境） 6
地域産業の振興と I T	北村 友博（情報工学） 7～11
繊維技術物語（第 13 話：先染と後染[その 2]）	谷本 義雄（繊維） 12
2001 年 12 月上海フリー旅行 6 日間	高井 茂（衛生工学） 13～15
靱界限の今昔あらかると	金岡 俊文（建設） 16～19
私の旅だより（香港之旅）	鎮 美香 20～21
広報委員会からのお知らせ	22
部会予告・報告	23～26
大阪技術振興協会行事案内	27
編集後記・広告	28